

腎臓病と上手につきあうために

いつものごはん Vol. 3

－家族と一緒に献立集－

山梨学院短期大学 専攻科 食物栄養専攻

第3巻の序

CKDにおけるたんぱく質制限食を、家庭において手軽に作ることのお手伝いができたら、という思いから始めました本活動も3年目を迎えました。

今回の「いつものごはん Vol. 3」は、山梨学院短期大学 専攻科 食物栄養専攻の2年生が中心になって作成しましたが、一部短期大学2年生もレシピ作りに参加しております。

前回までは、CKDの方を対象とした料理教室を1年に1回ではありますが開催し、県内では唯一のCKDの方を対象とした研修会として、ご好評をいただいておりました。しかし、本年は新型インフルエンザの流行により開催を断念いたしました。

そこで、今回は料理教室の代わりとなる「腎臓病と上手につきあうために一食事における6つのポイントー」の作成に力を入れることとし、日常の食生活においてヒントとなる内容を盛り込むことといたしました。もちろんそこには、学生たちが1年次に先輩たちが行った料理教室のボランティアスタッフとして各グループの料理作成をお手伝いする中で、気がついたことや参加者の方々からお教えいただいたことも参考にさせていただいております。

また、今回のレシピは、1食当たり「たんぱく質10g」の献立を基本として、食品の追加や変更により、たんぱく質13g、17g、20gに簡単に対応できるようにしました。考えてみると、日常の食事には、よく作る料理というものがあります。料理のレパートリーを増やしていただくことは、食事を豊かにし楽しみを増やすことになりますが、慣れ親しんだ料理を食べることは安心感につながります。たんぱく質制限に変更が生じても、ちょっとした変更で対応できることは、対象となる方にとっても、また料理を作る方にとっても、負担の少ない方法ではないかと思われます。レシピのレイアウトも、1食がA4判1枚となるようコンパクトに作成してあります。気に入ったレシピがありましたら、お手元にお出しいただき、日常的にご活用いただけたら幸いです。

なお、今回もトオカツフーズ株式会社様より十分なご援助をいただき、本レシピと手引きの作成及び学生の教育ができました。深く感謝申し上げます。

2010年3月
山梨学院短期大学食物栄養科
藤井 まさ子

はじめに

2008年の3月、トオカツフーズ(株)から山梨学院短期大学に、冷凍弁当の献立作成等にかかる依頼を受け、赤井住郎食物栄養科長、田草川憲男教授（山梨県栄養士会会長）とともに、4月3日にトオカツフーズ(株)の本社工場をおたずねしたのが、本活動の始まりです。その話合いの中で、トオカツフーズ(株)会長から『食事作りで大変な思いをしている方々のお役にたてるようなお弁当をお届けしたい』という熱い思いをお伺いし、『腎臓病の方々を対象としたお弁当ができたら、どんなにかいいのでは・・・。1年間冷凍庫での保存が可能なお弁当なら、忙しい時やあまり調子が良くない時にもすぐに食べることができ、きっと喜んでいただけるのではないかしら』と思い、即座に提案し同時にこれらにかかる講習会等の食育活動についても承諾をいただきました。

このように思いついたりましたのは、4年前、腎臓病の方を対象としたレシピ集の作成と料理教室にゼミの学生たちと取り組んだことがきっかけです。その後、その学生たちの中から本学の専攻科食物栄養専攻に進学した学生が中心となって、学生の自主企画として第2回目の料理教室を開催しました。どちらも山梨学院チャレンジ制度の認定により実現した取り組みでしたが、本年はトオカツフーズ(株)との冷凍弁当共同開発事業によるメニューを作成する過程で提案した献立をベースとして、1日のたんぱく質量に応じて活用できるレシピ集の作成をめざしました。

今回の活動は、主に山梨学院短期大学専攻科食物栄養専攻2年生が中心となって行ってまいりましたが、ここに到るまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。学生たちは、日常の学習や学外実習、論文の作成などを行いながら、度重なる献立作成のやり直しや試作の失敗に、自分の力不足や時間が取れないことのジレンマを数々味わってきてています。しかし、このような貴重な機会を与えていただけましたことは、学生たちにとって大変幸せなことであり、将来において必ず実を結ぶものだと信じております。

11月中旬にトオカツフーズ(株)からお弁当の試作品が届けられました時には、学生ともども大変うれしく思いましたが、皆様にお届けできるような商品となるまでには、まだ多くの改良が必要であることも十分にわかりました。工場で大量に生産される冷凍のお弁当のメニューを作ることの大変さを理解するとともに、何の知識もない私たちに懇切丁寧に対応していただいておりますトオカツフーズ(株)の担当者の方々や関係の方々に心より感謝申し上げます。

今後、さらによいレシピ集となるよう改善を加え、次の活動につなげていくためにも、このレシピ集をお使いいただく皆さんには、ぜひ忌憚のないご意見やご要望をいただけたらと存じます。

2008年11月
山梨学院短期大学食物栄養科
藤井 まさ子

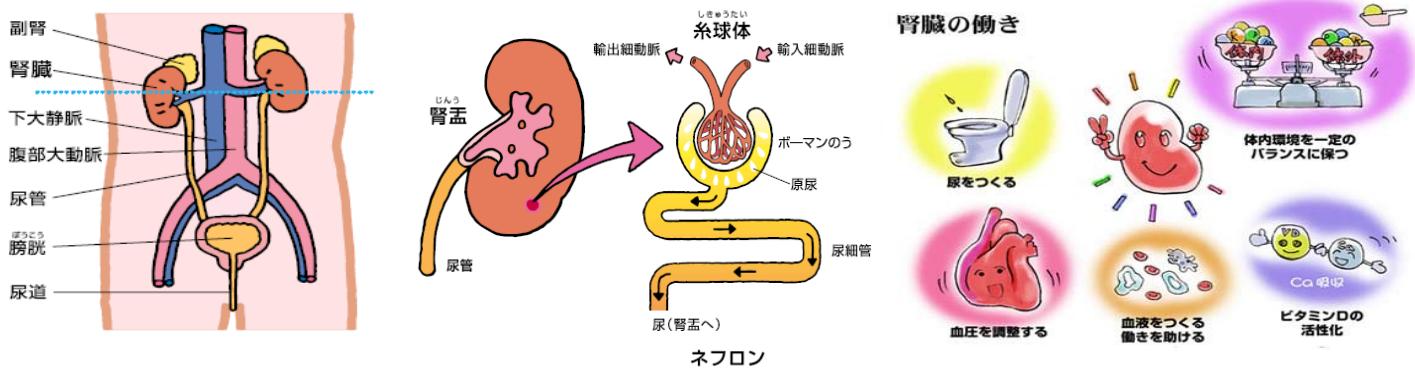
腎臓病と上手につきあうために －食事における6つのポイント－

1 腎臓の働きと食事療法の必要性について	1~3
(1) 腎臓のしくみと働き	1
(2) 食事療法の基本	2
(3) たんぱく質制限・エネルギーを十分に摂る理由	3
2 たんぱく質制限について	4~13
(1) 良質なたんぱく質を摂る必要性	4
(2) たんぱく質3gを含む食品重量	5~6
(3) 治療用特殊食品の活用方法	7
(4) 治療用特殊食品	8~11
(5) たんぱく質4g分を増やせるたんぱく源の重量	12
(6) カリウム50mg分を増やせる野菜・果物の重量	13
3 食塩制限について	14~22
(1) 食塩制限が必要な理由	14
(2) おいしく減塩するために～香辛料・香味野菜の活用～	15~18
(3) 加工食品に含まれる食塩の一覧	19
(4) 減塩調味料について	20~22
4 カリウム制限について	23~31
(1) カリウム制限が必要な理由	23
(2) カリウムを減らす調理の工夫	24
(3) 食品中のカリウム量	25~31
5 食品・栄養表示の見方について	32~41
(1) 食品表示とは	32
(2) 栄養表示とは	33
(3) ナトリウムの表示について	33
(4) 冷凍食品の栄養成分	34~35
(5) 菓子類の栄養成分	36~41
6 レシピ集の活用方法について	42~48
たんぱく質10gレシピ	49~

1 腎臓の働きと食事療法の必要性について

(1) 腎臓のしくみと働き

腎臓は、腰の上の両側にあるそら豆のような形をした握り拳くらいの大きさの左右一対の臓器です。血液が濾しだされて尿が出来る部位を糸球体といいます。この糸球体から濾しだされた尿は尿細管という管を通ります。腎孟という腎臓の内側に流れ込み、尿管を通して膀胱に集められます。この糸球体と尿細管はペアになっていて、ひとつの腎臓に約100万個、左右に2つで200万個もあります。



<http://www.asahikasei-pharma.co.jp/health/kidney/working.html>

腎臓はただ尿を作るだけの臓器ではなく、人間が生きる上で大切な仕事をいくつも受け持っています。

① 尿をつくり老廃物を排泄

腎臓の主な仕事は「尿」を作ることです。これは血液をろ過することにより老廃物を排出する働きです。老廃物とは窒素を含んだ窒素系老廃物で、クレアチニン、尿素、尿酸などです。これらはタンパク質が体の中で利用された後の分解産物であり、有害物質なのです。

② 体内的水分や電解質の調節

腎臓でろ過される水分の99%は、体の中に再び戻されて1%が尿として排泄されます。また、体にとって余分となったナトリウム、カリウム、リンなどの電解質も尿と一緒に排泄し、体のさまざまな電解質の濃度を一定に保っています。

③ 血液をつくる働きを助ける

腎臓は血液中の赤血球をつくる働きを助けるホルモン「エリスロポエチン」を出しています。腎臓の働きが悪くなると、エリスロポエチンが分泌されず、赤血球がつくりにくくなり、貧血の症状が出てきます。

④ 血圧を調節する

腎臓は血圧を維持するホルモン「レニン」をつくり、血圧を調節しています。腎臓病になるとレニンの分泌が多くなるため血圧が高くなります。

⑤ ビタミンDの活性化

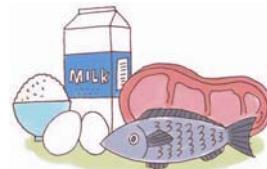
腎臓は、ビタミンDを活性化し、骨を丈夫にします。腎臓が悪いとビタミンDを活性化できないため、骨を作る材料となるカルシウムの吸収が低下し、骨が弱くなります。

(2) 食事療法の基本

腎臓病の方は食事療法が大変重要です。食事療法は、患者さん自身が日々実行することにより効果があがります。腎臓病食事療法の基本は、①たんぱく質を控える ②エネルギーは適正量を十分にとる ③食塩を制限する ④カリウムの取りすぎに注意する ⑤リンの取りすぎに注意する ことです。

① たんぱく質を控える

私たちの体はたんぱく質でできており、常に入れかわって毎日失われる分を食物から摂らなくてはなりません。しかし、たんぱく質を多くとりすぎると、腎臓からしか排泄されない窒素化合物やクレアチニン等が多くなり腎臓へ大きな負担がかかります。ですから、たんぱく質は必要最低限とすることが、腎臓にとって最も負担をかけないことになります。



② エネルギーは適正量を十分にとる

たんぱく質を減らした分だけ炭水化物、脂質を増やして、全体のエネルギー摂取量を確保する必要があります。たんぱく質が含まれない砂糖・でんぷん等や油類を上手に使用しましょう。

③ 食塩を制限する

腎臓でのナトリウムを排泄する能力が落ちているので、食塩は控えましょう。特に高血圧の方は食塩の制限が必要となります。食塩の摂取量が多いと高血圧やむくみの原因となります。

④ カリウムの取りすぎに注意する

腎機能が低下して血液中のカリウム量が多くなり過ぎたとき、カリウム制限の指示がでる場合があります。カリウムが体の中にたまりすぎると、不整脈を起こして心臓麻痺となる危険性があります。カリウムはあらゆる食品に含まれており、肉や魚などのたんぱく質源にも多いことから、たんぱく質制限はカリウム制限にもなります。このほか、きのこや海藻、野菜や果物にも多く含まれますから、摂取の制限が必要な場合もあります。

⑤ リンの取りすぎに注意する

リンが体の中にたまりすぎると、皮下組織や血管に沈着を起こしたり、骨病変の原因となります。たんぱく質を多く含む食品には同時にリンも多く含まれているので、たんぱく質をとりすぎないよう適正量とする事が、リン摂取制限につながります。

(3) たんぱく質制限・エネルギーを十分に摂る理由

〈なぜたんぱく質制限をするのか?〉

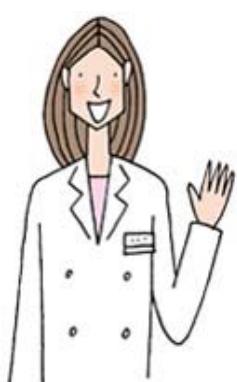
私たちが食べる食べ物の成分のうち、炭水化物や脂肪は、エネルギー源として使用され、その後老廃物は残りません。しかし、たんぱく質は、体内で利用された後、窒素化合物が残ってしまいます。腎臓の機能が低下すると、体内でできた窒素化合物を排泄できなくなってしまいます。血液中に窒素化合物が増加し一定以上に達すると、尿毒症*を起こし、命にかかる恐れが出てきます。また、たんぱく質摂取が多いと処理のために腎臓に負担がかかり、腎症の進行を早める恐れがあります。したがって、たんぱく質制限が必要となるのです。

*尿毒症・・・中毒症状。嘔吐・貧血・意識障害・肺気腫・痙攣・昏睡が起こる

〈なぜエネルギーを十分摂らなければならないのか?〉

単にたんぱく質の摂取量を減らすだけでは身体活動を維持するためのエネルギーが不足してしまいます。たんぱく質は、体を作るもととなるほか、エネルギー源としての重要な栄養素です。腎機能が低下してたんぱく質制限を始めると、摂取エネルギーが低下し、一日に必要なエネルギーを摂りきれなくなることも起こりがちです。必要なエネルギーが足りなくなると、筋肉などの体内のたんぱく質を分解してエネルギーをつくり出します。こうなると、たんぱく質摂取したときと同じように、窒素化合物が出てきてしまうばかりではなく、栄養状態も悪化します。こうなっては、せっかくたんぱく質制限をしても意味はなくなりてしまいます。

つまり、「エネルギーを十分摂る」のは、「たんぱく質制限して足りなくなってしまったエネルギーをたんぱく質をあまり含まない食品からとり、必要なエネルギーを確保しましょう」ということなのです。適切なエネルギー摂取量は、年齢、性別、活動量などによって個人個人違いますが、標準体重当り 1 日 30~35kcal/kg が基準となります。例えば、標準体重が 50kg の人の場合では、1500kcal~1750kcal がエネルギーの摂取量の目安になります。



必ず専門の医師により自分にあった
食事内容の指示を出してもらい、
さらに管理栄養士からの具体的な指
導を受けるようにしましょう。

2 たんぱく質制限について

(1) 良質なたんぱく質を摂る必要性

私たちの体のたんぱく質は、約 20 種類のアミノ酸で構成されており、このうち体内で合成することができないアミノ酸を**必須アミノ酸**といい、食品から摂取する必要があります。

たんぱく質制限では、単にたんぱく質の量を控えるだけでなく、限られた中でも**必須アミノ酸**を十分含む良質なたんぱく質食品を選ぶことが大切です。このたんぱく質の「質」は「アミノ酸価」という数値であらわされ、100 に近いほど良質なたんぱく質食品といえます。

【各種食品のアミノ酸価】

《動物性食品》

豚ロース・赤身肉	100	さば	100	いか	71
鶏肉（もも・むね）	100	さんま	100	鶏卵	100
牛肉（サーロイン）	100	ししゃも	100	牛乳	100
ワインナー	100	ぶり	100	ヨーグルト	100
あじ	100	あさり	81	チーズ	91
さけ	100	えび	74	ゼラチン	0

《植物性食品》

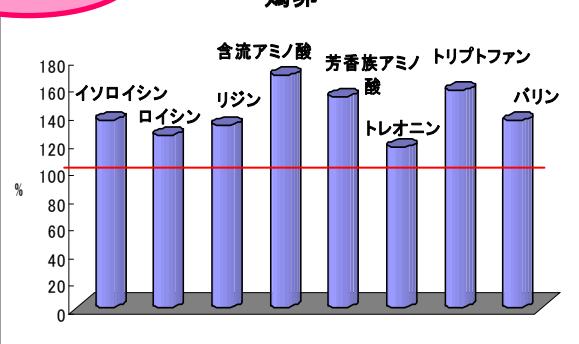
精白米	65	凍り豆腐	86	にら	83
小麦粉	44	大豆	86	ブロッコリー	80
食パン	44	納豆	84	もやし	77
コッペパン	44	油揚げ	77	ほうれん草	50
うどん・そうめん	39	さつまいも	88	いちご	66
豆腐(木綿)	100	じゃがいも	68	りんご	58

(例)

【必須アミノ酸のバランス】

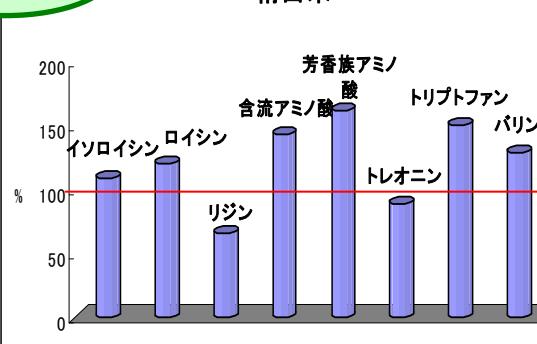
動物性食品

鶏卵



植物性食品

精白米



※1973年 一般用(成人)、一般用はヒスチジンを除く

(2) たんぱく質3gを含む食品重量

同じたんぱく質量でも、エネルギーに違いがあります。

肉類	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
牛もも肉	15g	薄切り 1枚	31kcal
牛肩ロース肉	20g	薄切り 1枚	64kcal
豚もも肉	15g	薄切り 1枚	27kcal
豚かたロース肉	20g	薄切り 1枚	51kcal
鶏むね肉	15g	1切れ	29kcal
鶏もも肉	20g	1切れ	40kcal
肉加工食品	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
ロースハム	20g	1枚	39kcal
ワインナー	20g	大1本	64kcal

魚介類	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
あじ	15g	中 1/5 尾	18kcal
さけ(べにさけ)	15g	中切り身 1/5切れ	21kcal
さば	15g		30kcal
さんま	15g		47kcal
ぶり	15g	中切り身 1/5切れ	39kcal
ししゃも	15g	半分	25kcal
たら	15g	中切り身 1/4切れ	12kcal
★えび (ブラックタイガー)	15g	小 1 尾	12kcal
★あさり	50g		15kcal
お刺身(生食)	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
まぐろ(赤身)	15g	1切れ	19kcal
★いか	15g		16kcal
魚介加工食品他	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
シーチキン	15g		43kcal
かまぼこ	25g	2切れ	24kcal
ちくわ	25g	1/4 本	30kcal

★アミノ酸価が低い食品

卵類	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
鶏卵	25g	MS 半分	38kcal
うずら卵	25g	2個	45kcal

大豆・大豆製品	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
納豆	20g	1/2 パック	40kcal
水煮大豆	25g		35kcal
厚揚げ	30g	1/5 枚弱	45kcal
豆腐（木綿） (絹)	45g 60g		32kcal 34kcal

牛乳・乳製品	重量(目安量)	重量(目安量)	エネルギー
スライスチーズ	15g	1枚	51kcal
ヨーグルト (全脂無糖)	80g	小1パック弱	50kcal
牛乳	90g	小1/2パック弱	60kcal

(参考資料 五訂増補日本食品標準成分表
第7版腎臓病食品交換表)



重量はおよその目安になります。
たんぱく質制限を考慮しながら参考にしてみて下さい。

(3) 治療用特殊食品の活用方法

●制限されたたんぱく質であるからこそ、たんぱく質の“質”が重要●

たんぱく質制限が厳しい場合には、良質なたんぱく質を含まない食品のたんぱく質を抑えることが一番のポイントになります。

たとえば

主食（ごはん、パン、麺）には
多くのたんぱく質が含まれている

主食（ごはん180g当り）のたんぱく質量比較

※商品によって数値が異なります。

普通のごはん	たんぱく質1/25ごはん	でんぶん米
4.5g	0.2g	0.1g

治療用特殊食品を使って主食でたんぱく質を節約

代わりに肉・魚・卵・大豆製品・乳・乳製品
⇒約20g増やすことができます

さらに

主食には多くのカリウムも含まれている

主食（ごはん180g当り）のカリウム量比較

※商品によって数値が異なります。

普通のごはん	たんぱく質1/25ごはん	でんぶん米
52mg	0.4mg	3.1mg

治療用特殊食品を使うと主食でカリウムも節約

代わりに野菜・果物

⇒増やすことができます

治療用特殊食品を使うと…

- ・たんぱく質制限が無理なくできます。
- ・主菜の量が増やせるので良質なたんぱく質を摂取できます。
- ・おかずの量が増やせるのでボリュームのある食事ができます。
- ・カリウム制限ができます。

しかし、これでもエネルギーが不足することがあります。

そこで…

たんぱく質を含まない食品やたんぱく質をほとんど含まない食品を活用し、不足しているエネルギーを補うことが大切です。

たんぱく質を含まない食品
油・砂糖

たんぱく質をほとんど含まない食品（料理のかさも増）
春雨・片栗粉・くず粉・くずきり・コーンスターク

(4) 治療用特殊食品

予告なく成分値が変わることがあります。最新成分値は商品パックをご参照ください。

レトルト商品1パック180g当たりの栄養価



商品名	I礼ギ -	たんぱく質	脂質
ゆめごはん 1/10	292kcal	0.4g	0.7g
	食塩	カリウム	リソ
	0.0g	0.4mg	27mg

レトルト商品1パック180g当たりの栄養価



商品名	I礼ギ -	たんぱく質	脂質
ゆめごはん 1/25	292kcal	0.2g	0.7g
	食塩	カリウム	リソ
	0.0g	0.4mg	27mg

レトルト商品1パック180g当たりの栄養価



商品名	I礼ギ -	たんぱく質	脂質
ゆめごはん 1/35	292kcal	0.13g	0.6g
	食塩	カリウム	リソ
	0.01g	0.4mg	27mg

レトルト商品1パック180g当たりの栄養価



商品名	I礼ギ -	たんぱく質	脂質
ピーエルシーごはん 炊き上げ一番 1/20	300kcal	0.22g	0.9g
	食塩	カリウム	リソ
	0.0g	0.5mg	25mg

レトルト商品1パック180g当たりの栄養価



商品名	I礼ギ -	たんぱく質	脂質
ピーエルシーごはん 炊き上げ一番 1/5	290kcal	0.9g	0.7g
	食塩	カリウム	リソ
	0.0g	1mg	27mg

レトルト商品1パック150g当たりの栄養価



商品名	I礼ギ -	たんぱく質	脂質
ファイバー 越後ごはん	236kcal	0.19g	0.9g
	ナトリウム	カリウム	リソ
	2.9mg	1.4mg	15.6mg

レトルト商品1パック150g当たりの栄養価



商品名	I礼ギ -	たんぱく質	脂質
プレミアム 越後ごはん	136kcal	0.19g	0.9g
	ナトリウム	カリウム	リソ
	2.8mg	14mg	15.6mg

レトルト商品1パック180g当たりの栄養価



商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
生活日記ごはん 1/25	306kcal	0.18g	2.2g
	食塩	カリウム	リツ
	0.056g	8mg	31mg

*100g当たりの栄養価



商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
ジンゾウ先生の でんぶん米 0.1	360kcal	0.1g	4.8g
	食塩	カリウム	リツ
	0.0g	6mg	17mg

*100g当たりの栄養価



商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
でんぶん米 げんたくん	355kcal	0.3g	0.8g
	食塩	カリウム	リツ
	0.0g	34mg	25mg

*100g当たりの栄養価



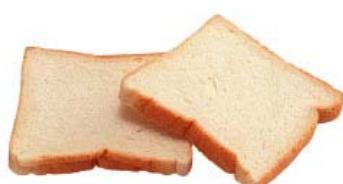
商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
グンブンライス	355kcal	0.5g	0.9g
	食塩	カリウム	リツ
	0.0g	7mg	24mg

1個(50g)当たりの栄養価



商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
たんぱく調整 ロールパン	159kcal	2.1g	3.3g
	食塩	カリウム	リツ
	0.2g	30mg	20mg

1枚(50g)当たりの栄養価



商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
たんぱく調整 食パン	147kcal	2.1g	2.8g
	食塩	カリウム	リツ
	0.2g	29mg	18mg

1個(50g)当たりの栄養価



商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
たんぱく調整 クロワッサン	221kcal	1.9g	11.8g
	食塩	カリウム	リツ
	0.3g	33mg	18mg



1個(50g)当たりの栄養価

商品名	I群ギ -	たんぱく質	脂質
越後の丸パン	146kcal	0.25g	3.4g
	食塩	カリウム	リソ
	0.3g	10mg	13mg



1個(50g)当たりの栄養価

商品名	I群ギ -	たんぱく質	脂質
たんぱく調整 チョコロール	218kcal	2.2g	9.5g
	食塩	カリウム	リソ
	0.2g	38mg	21mg



(乾麺) 100g当たりの栄養価

商品名	I群ギ -	たんぱく質	脂質
アプロテエンたんぱく 調整スパゲティタイプ	344kcal	0.2~0.6g	1.1g
	食塩	カリウム	リソ
	0.1g	4~30mg	23mg



(乾麺) 100g当たりの栄養価

商品名	I群ギ -	たんぱく質	脂質
アプロテエンたんぱく 調整マカロニタイプ	344kcal	0.2~0.6g	1.1g
	食塩	カリウム	リソ
	0.1g	4~30mg	23mg



(乾麺) 100g当たりの栄養価

商品名	I群ギ -	たんぱく質	脂質
げんたうどん (乾麺)	352kcal	2.7g	1.2g
	食塩	カリウム	リソ
	0.0g	435mg	50mg



(乾麺) 100g当たりの栄養価

商品名	I群ギ -	たんぱく質	脂質
げんたそば (乾麺)	354kcal	2.9g	0.8g
	食塩	カリウム	リソ
	0.0g	93mg	51.5mg



(乾麺) 100g当たりの栄養価

商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
げんたそうめん (乾麺)	353kcal	2.8g	1.3g
	食塩	カリウム	リツ
	0.0g	43mg	50mg



1袋当たりの栄養価

商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
生活日記うどん (つゆ付き)	311kcal	1.1g	0.6g
	食塩	カリウム	リツ
	1.4g	40mg	40mg



1袋当たりの栄養価

商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
即席ノンカップ麺 げんたらーめん みそとんこつ味	352kcal	3.6g	15.7g
	食塩	カリウム	リツ
	2.3g	115mg	70.1mg



1袋当たりの栄養価

商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
即席ノンカップ麺 げんたうどん (つゆ付き)	345kcal	3.7g	13.9g
	食塩	カリウム	リツ
	3.2g	91.6mg	58.3mg



1袋当たりの栄養価

商品名	エネルギー -	たんぱく質	脂質
即席ノンカップ麺 げんたやきそば (ソース・青のり付き)	350kcal	3.2g	15.5g
	食塩	カリウム	リツ
	1.4g	67.1mg	46.7mg

(5) たんぱく質 4g 分を増やせるたんぱく源の重量

主食（ごはん、パン、麺）を治療用特殊食品にした場合
肉・魚貝類・卵・大豆製品・乳・乳製品をたんぱく質4g分増やせます！

食品名	重量 (g)	Iエネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	食塩 (g)	カリウム (mg)
牛肉肩ロース	20	48	3.6	3.5	0.0	60
牛肉ばら	25	93	3.6	8.2	0.0	58
豚肉肩	20	48	3.7	3.4	0.0	64
豚肉ばら	25	109	3.4	10.0	0.0	55
鶏肉むね	20	49	3.9	3.4	0.0	38
鮭	15	20	3.3	0.6	0.0	53
さば	20	65	3.4	5.4	0.1	64
ほっけ	20	23	3.5	0.9	0.0	72
えび	20	16	3.7	0.1	0.1	46
ほたてかい	25	18	3.4	0.2	0.2	78
やりいか	20	17	3.5	0.2	0.2	50
卵	30	45	3.7	3.1	0.1	39
大豆（ゆで）	20	36	3.2	1.8	0.0	114
挽きわり納豆	20	39	3.3	2.0	0.0	140
木綿豆腐	55	40	3.6	2.3	0.0	77
牛乳	100	67	3.3	3.8	0.1	150
アーモンドチーズ	15	51	3.4	3.9	0.4	9

(6) カリウム 50mg 分を増やせる野菜・果物の重量

主食（ごはん、パン、麺）を治療用特殊食品にした場合
野菜・果物をカリウム50mg分増やせます！

食品名	量 (g)	Iエネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	脂質 (g)	食塩 (g)	カリウム (mg)
かぼちゃ	10	9	0.2	0.0	0.0	45
こまつな	10	1	0.2	0.0	0.0	50
しゅんぎく	10	2	0.2	0.0	0.0	46
トマト	20	4	0.1	0.0	0.0	42
にら	10	2	0.2	0.0	0.0	51
にんじん	15	6	0.1	0.0	0.0	48
ピーマン	25	6	0.2	0.1	0.0	48
ブロッコリー	10	3	0.4	0.1	0.0	36
キャベツ	25	6	0.3	0.1	0.0	50
きゅうり	25	4	0.3	0.0	0.0	50
だいこん	20	4	0.1	0.0	0.0	46
たまねぎ	30	11	0.3	0.0	0.0	46
なす	20	4	0.2	0.0	0.0	44
ねぎ	25	7	0.1	0.0	0.0	45
はくさい	20	3	0.2	0.0	0.0	44
緑豆もやし	70	10	1.2	0.1	0.0	48
レタス	25	3	0.2	0.0	0.0	50
いちご	25	9	0.2	0.0	0.0	43
オレンジ	35	14	0.3	0.0	0.0	49
キウイフルーツ	15	8	0.2	0.0	0.0	44
グレープフルーツ	35	13	0.3	0.0	0.0	49
なし	35	15	0.1	0.0	0.0	49
パインアップル	30	15	0.2	0.0	0.0	45
バナナ	10	9	0.1	0.0	0.0	36
ぶどう	35	21	0.1	0.0	0.0	46
もも	25	10	0.2	0.0	0.0	45
りんご	45	24	0.1	0.0	0.0	50

3 食塩制限について

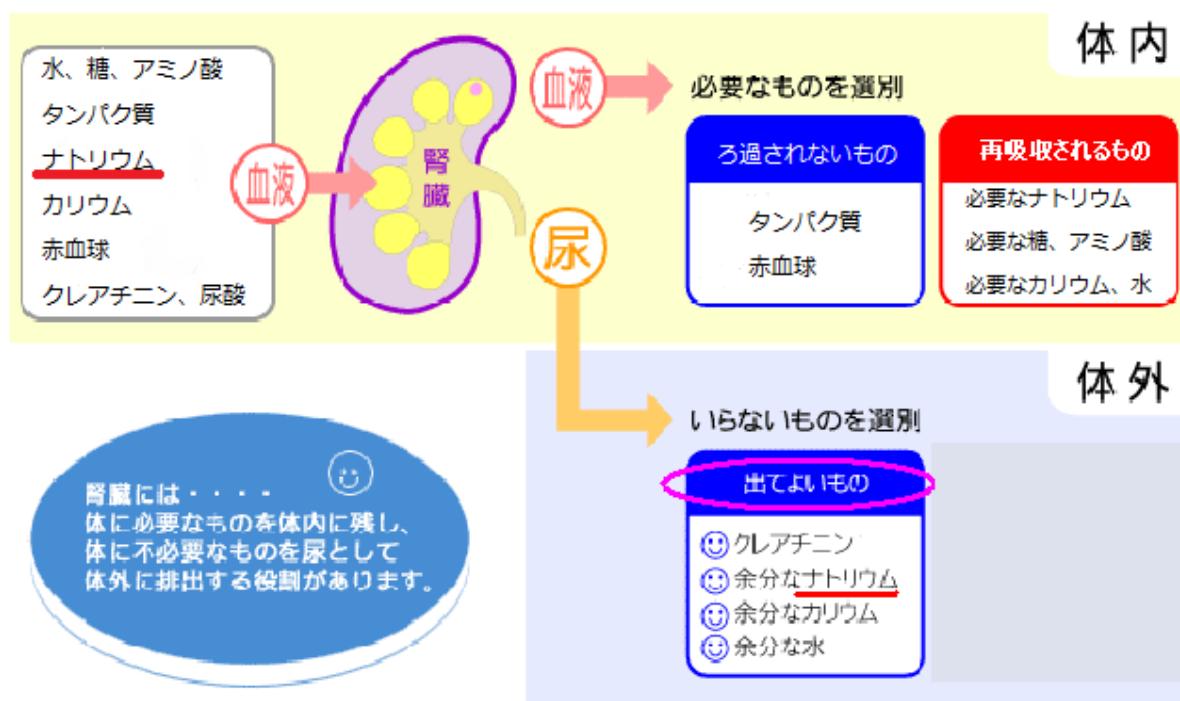
(1) 食塩制限が必要な理由

〈食塩の働き〉

食塩は塩化ナトリウムともいい、NaClと表します。ナトリウムは体内の水分量を調節し、体液の酸塩基平衡の維持に関わっています。

〈摂取した食塩は腎臓でどのように処理されるか〉

腎臓が正常に機能している場合は、血液が腎臓を通るときに必要なものであるタンパク質や赤血球はろ過されずに血液中に残ります。体にとって必要なナトリウム・カリウムも再吸収して体内に残しますが、クレアチニンや余分なナトリウム、カリウム、水は尿として体外に捨てます。



〈腎臓の機能が低下すると起こること〉

腎臓の機能が低下すると余分なナトリウムを上手く排泄できなくなってしまいます。排泄されなかったナトリウムは血液中に残ってしまいます。血液中のナトリウムが多くなると、ナトリウム濃度を正常に戻すために血液中に水分を取り込むために、血液量は増え、**高血圧**や**むくみ**の原因となります。

〈食塩を制限すると〉

腎臓が余計な働きをしなくて済むので腎臓の負担が減り、腎機能の低下を防ぐことに繋がります。また、不十分なナトリウム排泄が原因の高血圧やむくみを防ぐことができます。

(2) おいしく減塩するために～香辛料・香味野菜の活用～

〈食塩を減らすための調理の工夫〉

- ①だしを濃い目にとる
- ②唐辛子、カレー粉などの香辛料や、しそ、レモンなどの香味野菜や柑橘類を利用する
- ③酢を利用する
- ④ごま油の香りを利用する
- ⑤焼きたて、揚げたての香ばしさを利用する
- ⑥「かけじょうゆ」ではなく、塩味を強く感じる「つけじょうゆ」にする
- ⑦塩やしょうゆに比べ、塩分が少ないマヨネーズ、ドレッシング、トマトケチャップなどを利用する
- ⑧麺類の汁は残す
- ⑨減塩調味料、減塩食品を利用する
- ⑩重点的に塩味をつける（薄味の料理の中に一品普通の味付けの料理があると味にメリハリがありでて、満足感が増す）

◆減塩しながら食事を楽しむ工夫として香辛料・香味野菜を上手に使うことも重要なポイントです。

※香辛料・香味野菜を使用しているレシピ名とレシピ番号を表中に示してあります。

〈香辛料〉

香辛料は、調味料の一種で調理の際に香りや辛味、色をつけることにより減塩効果があります。また、食事をおいしくしたり、食欲を増進したりします。



カレー粉：カレー以外にも、食欲亢進の香辛料として料理やソースに利用されます。辛味を利用して減塩します。

使用しているレシピ

主菜：カレー豆腐⑪



唐辛子：薬味、香辛料として利用して減塩します。一味唐辛子や七味唐辛子があります。

使用しているレシピ

主菜：豚肉の蒸しマヨネーズ③

副菜：れんこんとまいたけの炒め煮⑩

　　こんにゃくとしいたけのピリ辛煮⑯

　　たけのことんじんのピリ辛炒め⑭

 <p>胡椒：香辛料の一つです。黒こしょう、白こしょうなどがあります。</p>	 <p>さんしょう：彩りとして葉をそえたり、粉末のものを香り付けとして用いたりします。特有の香りがあり、味にアクセントが付きます。</p>
---	---

〈香味野菜・柑橘類〉

香味野菜、柑橘類は、料理に少量加えることで味を引き締め、香りを添えることで減塩の効果があります。また、食欲をそそったり、料理に彩りを添える役目もします。しそ、ねぎ、しょうが、みょうが、みつば、にんにく、ゆず・青ゆず、かぼす、レモンなどがあります。

 <p>しそ：薬味や付け合せに用います。特有の香りがあるため、調味料の量がおさえられます。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：肉団子のあんかけ④ 豆腐の彩りハンバーグ⑬</p> <p>副菜：なめこの甘酢しょうゆ和え① にんじんとじゃがいものみそ炒め⑤ なすのフライ⑨</p>	 <p>ねぎ：肉や魚の臭み消しに用いられます。薬味としても利用されます。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：豚肉とレモンのさっぱり蒸し① 鮭と長ねぎのマヨネーズ和え⑭</p> <p>豚肉の蒸しマヨネーズ③ 豆腐の彩りハンバーグ⑬</p> <p>副菜：はるさめと白菜の和え物⑪ さつまいもの味噌汁⑯</p>
 <p>しょうが：料理の風味付けや食材の臭みを消す効果があります。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：肉団子の甘酢ソース⑤ 豆腐の彩りハンバーグ⑬</p> <p>副菜：トマトの生ナムル⑭ はるさめと白菜の和え物⑯</p>	 <p>みょうが：薬味として用います。冷奴にのせると、しょうゆの量をおさえることができます。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>副菜：きゅうりとみょうがの酢の物⑯</p>
 <p>みつば：香味野菜として日本料理に用いられことが多いです。香りづけや彩りとして用いられます。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：鶏肉の包み焼き⑨ 目玉焼きの甘酢あんかけ⑯</p> <p>副菜：トマトの生ナムル⑭</p>	 <p>にんにく：みじん切りやスライス、おろすなどして用いる。加熱すると独特的のうまみを出し、料理にコクを出す効果があります。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：カレー豆腐⑪</p> <p>副菜：きのこのバター炒め⑧</p>

 <p>ゆづ・青ゆづ、かぼす：焼き魚や刺し身に添えます。彩りがきれいで、風味付けにもなります。</p>	 <p>レモン：さわやかな酸味を利用して、減塩します。サラダやフライに用います。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：豚肉とレモンのさっぱり蒸し① 鶏肉の包み焼き⑨ 豆腐の彩りハンバーグ⑬</p> <p>副菜：キャベツとコーンのサラダ② なすのフライ⑨ さつまいものレモン煮⑩</p>
---	--

〈調味料〉

減塩に効果的な調味料には、ごま油、酢、トマトピューレなどがあります。また、ごまを利用すると香りと風味により減塩でも美味しいいただけます。

 <p>ごま油：独特の香りがあり、風味づけになります。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：豚肉とレモンのさっぱり蒸し① 肉団子のあんかけ④ 肉団子甘酢ソース⑤</p> <p>副菜：野菜のマヨきんぴら① はるさめときゅうりの甘酢和え⑨ トマトの生ナムル⑭ アスパラとコーンの和風サラダ⑯</p>	 <p>酢：食塩を減らしても、味を濃く感じます。減塩するときには、よく使われます。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：豚肉の蒸しマヨネーズ③ 目玉焼きの甘酢あんかけ⑯</p> <p>副菜：きゅべつとわかめの和え物⑤ きゅうりの酢和え④ もやしのごまマヨサラダ⑪ ゆでキャベツのサラダ⑫ はるさめと野菜のサラダ⑥ なめこの甘酢しょうゆ和え① れんこんとまいたけの炒め煮⑯など</p>
 <p>トマトピューレ：トマトのコクを出したいときや風味づけ、煮込み料理やソースに用います。少量の食塩と香味野菜が加えられています。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：鶏肉のトマト煮⑦ 鶏肉と野菜のトマト煮⑧</p>	 <p>ごま：香りを活かして、風味づけに利用されます。</p> <p>使用しているレシピ</p> <p>副菜：野菜のマヨきんぴら① だいこんとコンニャクのごま味噌和え③ トマトの生ナムル⑭ もやしのごまマヨサラダ⑪ チンゲンサイのマヨ和え⑮</p>

〈山菜〉

春が旬のふきのとうやせりなどは、香りや独特な苦味を料理に生かしましょう。

	<p>ふきのとう : 特有の苦味があります。</p>		<p>せり : 独特的の香りと歯ざわり、 アクが特徴です。</p>
---	---------------------------------------	---	--

〈ハーブ〉

ハーブは、香りや辛味、苦味などの風味を楽しむために少量用います。

パセリ、バジル、セージ、ローズマリー、タイムなどがあります。

	<p>パセリ :飾りに用い ます。他に、みじん 切りにして料理に加 えると香り豊かにな ります。</p>		<p>バジル :彩りがよく飾りとし て用いられます。トマトや肉 との相性がよく、洋食に用い られます。</p>
<p>使用しているレシピ</p> <p>主菜：鶏肉のトマト煮⑦</p> <p>ミートボールのトマト煮⑫</p>	<p>使用しているレシピ</p> <p>副菜：ポテトソテー②</p>		
	<p>セージ :肉の臭み取りに 適したハーブで、ラム肉 や内臓系の食材の調理 にも適しています。</p>		<p>ローズマリー :肉料理、魚料 理の臭みを取り除くのに主に 使われます。</p>
	<p>タイム :魚や肉の臭みを 取り除くのに有効です。</p>		

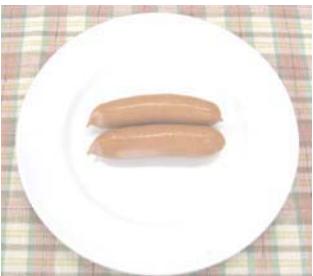


香辛料・香味野菜などは、料理に香りや色を添え、味にアクセントを付け、また、季節感を表わすこ
とができます。少量を効果的に用いる事によって、料理の引き立て役として果たす役割は大きなもので
す。香辛料・香味野菜を上手に利用して、おいしく減塩して食事を楽しみましょう。

(3) 加工食品に含まれる食塩の一覧

上段の食塩量：写真の目安量中の食塩含有量

下段の食塩量：食品 100g 中の食塩含有量

ワインナー(2本：約 20g) 食塩 0.4 g  食塩 1.9 g/100 g	ロースハム(1枚：約 20g) 食塩 0.5 g  食塩 2.5 g/100 g	スライスチーズ (1枚：約 15g)食塩 0.4 g  食塩 2.8 g/100 g
あじ開き (1尾 80g) (正味 60g) 食塩 1.0 g  食塩 1.7 g/100 g	焼きちくわ (1本：約 30g)食塩 0.6 g  食塩 2.1 g/100 g	さつま揚げ (小) (1枚：約 25g)食塩 0.4 g  食塩 1.4 g/100 g
はんぺん (大判：110g) 食塩 2.1 g  食塩 1.9 g/100 g	たくあん (厚め：2枚 40g) 食塩 1.7 g  食塩 4.3 g/100 g	梅干し (大) (1個 25g 正味 20g) 食塩 4.5 g  甲州小梅 (1個 3g 正味 2g) 食塩 0.4 g  食 塩 22.1 g 19.3 g (どちらも 100g当たり)

(4) 減塩調味料について

食塩は、しょうゆやみそだけでなくドレッシングやトマトケチャップ、マヨネーズなどのソース類にも多く含まれています。減塩調味料を使えば、ふつうの調味料と同じ量を使っても、食塩の量は半分に減らすことができます。

しかし、腎臓病の方の場合に注意しなければならないのが、ナトリウム制限に加えて、カリウム制限とリンの制限です。普通の減塩調味料はナトリウム（食塩）の量は制限されているものの、カリウムの量が高くなっている場合があるので、注意が必要です。また、リンはたんぱく質、カリウムと密接な関係にあります。そのため、リンの含有量にも注意が必要です。

○キッコーマン(株)：食塩濃度5%減塩しょうゆ



内容量：5ml

■使いきりタイプなので、多く摂りすぎてしまう心配が少なくなります。

〈1袋(5ml)当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
3.5	0.5	6.5	8.6	0.28

○キッコーマン(株)：だしわりしょうゆ



内容量：500ml

■普通のしょうゆに比べ、たんぱく質約1/2、リン約1/3、カリウム約1/10、ナトリウム約1/2のダシでわったタイプのおしょうゆです。

〈100g 当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
53	3.7	28	49.7	7.2

○日清オイリオグループ(株)：だしわりつゆの素



内容量：500ml

■減塩、たんぱく質1/3、リン・カリウムが1/4です。水で薄めてめんつゆや煮物に、お刺身やおひたしに使えます。

〈100g 当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
112	4.5	134	72.8	8.1



○キッコーマン(株)：だしわりぽんず

内容量：250ml

- 市販のぽんずに比べて塩分 1/2、たんぱく質 1/2、リン 1/2、カリウム 1/10 です。

〈100g 当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
55	2.0	21	37.8	4.4



○キューピー：プロチョイス マヨネーズタイプ

内容量：500g

- 通常のマヨネーズに比べ塩分、リンやカリウム量が少なくなっています。

〈100g 当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
720	0.3	2.6	7.3	1.2

○デルモンテ：お塩をいれていないケチャップ

内容量：15g

- 原料由来のナトリウムのみのため、食塩相当量は 0g です。

〈1 袋(15g)当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
12	0.2	67	5	0

○キューピー (株)：減塩中濃ソース

内容量：10ml

- 市販の中濃ソースに比べて塩分を約 60% カットした減塩ソースです。

〈1 袋(10ml)当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
13	0.1	34	3	0.2

○キッコーマン：だしわりドレッシング



内容量：10ml

■一般的のドレッシングに比べリン・カリウム・食塩は約 1/2 です。

〈1袋(10ml)当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
19	0.2	3	2	0.34

○マルサンアイ：全病食減塩みそ



内容量：750g

■ 食塩を五訂増補日本食品標準成分表「米みそ(淡色辛みそ)」から 50% 以上カットした減塩みそ。

〈100g 当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
208	11.4	507	179	5.5

○(株)マルハチ村松：鉄・カルシウム強化減塩だしの素



内容量：4g×30

■ 1.0g で、鉄 0.5mg 以上、カルシウム 30mg 以上を摂取できます。
また、一般的な顆粒風味調味料に比べて、ナトリウムが約 40% カットされています。

〈1袋(4g)当りの栄養成分〉

エネルギー kcal	たんぱく質 g	カリウム mg	リン mg	食塩相当量 g
11	1.1	8.8	68	0.96



普段はなかなかできない煮物なども、特殊食品を利用すれば美味しく食べることができます。普段の生活に少しでも役立てていただければと思います。

4 カリウム制限について

(1) カリウム制限が必要な理由

カリウムは細胞内液に多く存在し、**細胞内の浸透圧維持**や**神経系の刺激伝達と活動、筋肉の収縮と弛緩**等の役割を担っています。カリウムを十分に摂取することは減塩よりも効果的に血圧を下げる上、高血圧防止効果があります。しかし、慢性腎不全では、腎臓での機能が低下し、体内の余分なカリウム排泄がうまく出来なくなり、**高カリウム血症**になりがちです。



高カリウム血症では・・・

息苦しい、脈が乱れる、動悸がする、唇のしびれ感、手足のしびれ感、手足のだるい感じ、例えようのない違和感、手足に力が入らないなどの**筋肉・神経症状**が起こります。

高カリウム血症になると、筋力の低下や筋肉の麻痺が起こります。筋肉の麻痺が、呼吸をする筋肉で起きた場合には呼吸困難になり、血清カリウムが7.5mEq/l以上になると、不整脈やひどい場合には心停止が起きてしまいます。

高カリウム血症を防ぐためにも、カリウムを制限することはとても大切なのです。

カリウムの多い食品群は野菜、果物、いも類、きのこ類、海藻類です。また、**たんぱく源**となる肉類、魚類、豆類、牛乳・乳製品にも含まれています。



普段、私たちが日常的に摂取している食品にはカリウムが多く含まれています。そのため、腎臓病の方の場合は、摂取する食品選び、量、調理法などに注意しなければなりません。

(2) カリウムを減らす調理の工夫

普段調理に使うことの多い食材を用いて茹でこぼした時のカリウム量を比較してみます。

茹でこぼし調理

使用食材 【しいたけ、なす、小松菜、ほうれん草】

食材を調理しやすい大きさに切れます。

小さめに切った方がカリウムは流出しやすくなります。



しいたけ：カリウム量
生 10g : 28mg
ゆで 10g : 25mg



な す：カリウム量
生 50g : 110mg
ゆで 50g : 90mg



小松菜：カリウム量
生 50g : 250mg
ゆで 50g : 70mg



ほうれん草：カリウム量
生 50g : 345mg
ゆで 50g : 245mg



★表示したカリウム量は、
五訂増補食品成分表で計
算しています。

茹で時間の目安は？ · · · · · ◎普通に茹でる◎

長時間茹でる方が、カリウムの流出量は増えるかもしれません、食品本来の味を損ねてしまいます。たっぷりの水で、美味しい状態まで茹で、流水にさらすことにより、カリウムをさらに減らすことができます。

(3) 食品中のカリウム量（五訂増補食品成分表より算出）

カリウムの目安（肉、魚、卵、大豆、乳類）

※食品 100g 中のカリウム量とたんぱく質 3g を含む量に含有するカリウム量を示しました。

		100g 使用量		たんぱく質 3gあたりの使用量		
		エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量(g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
牛かたロース	生	318	260	18.5	59	48
豚ひき肉	生	221	310	16	35	50
豚ロース	生	263	310	15.5	41	48
豚ばら肉 薄切り	生	386	250	21	81	52
豚かた薄切り	生	216	320	17	37	53
鶏もも肉	生	200	270	18.5	37	50
鶏ひき肉	生	166	270	14.5	24	39
あじ開き干し	生	121	370	15	25	46
さけ	生	138	380	13.5	19	51
さば	生	202	320	14.5	29	46
さんま	生	310	200	16	50	32
ぶり	生	257	380	14	36	53
まぐろ	生	125	380	11.5	14	44
鶏卵	生	151	130	24	36	31
大豆	乾	417	1900	8.5	35	161
納豆		200	660	18	36	119
絹ごし豆腐		56	150	60	34	90
普通牛乳		67	150	90	60	135
プレーンヨーグルト		62	170	85	53	145
スライスチーズ		399	60	13	44	8
アイスクリーム		180	160	75	168	143

カリウムの目安（野菜①）

※ 茄でこぼしてもカリウム減少量が少ない食品については★マークをつけています。

カリウム 100mg に相当する食品重量を示しています。

		カリウム 100mg 相当			1回使用量			
		重量 (g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量 (g)	目安量	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
アスパラガス	生	35	8	95	20	1本	4	54
アスパラガス	水煮缶詰	60	13	102	20	1本	4	34
いんげん豆	生	40	9	104	10	2本	2	26
いんげん豆	ゆで	40	10	108	10	2本	3	27
枝豆	生	15	20	89	15		20	89
枝豆	ゆで	20	27	98	15		20	74
枝豆	冷凍	15	24	98	15		24	98
さやえんどう	生	50	18	100	3	2本	1	6
さやえんどう	ゆで	60	20	96	3	2本	1	5
スナップ えんどう	生	60	26	96	30	2本	13	48
オクラ	生	40	12	104	15	2本	5	39
オクラ	ゆで	35	12	98	15	2本	5	42
かぶ	生	40	8	100	20	1/4個	4	50
かぶ	ゆで	40	9	100	20	1/4個	4	50
かぼちゃ	生	20	18	90	60	1/8個 (2切)	55	270
かぼちゃ*	ゆで	25	23	108	60	1/8個 (2切)	56	258
カリフラワー	生	25	7	103	10	1房	3	41
カリフラワー	ゆで	45	12	99	10	1房	3	22
キャベツ	生	50	12	100	40	1枚	9	80
キャベツ	ゆで	100	20	92	30	1枚	6	28
きゅうり	生	50	7	100	20	1/4本	3	40
京菜	生	20	5	96	30	1株	7	144
京菜	ゆで	25	6	93	20	1株	4	74

カリウムの目安（野菜②）

		カリウム 100mg 相当			1回使用量			
		重量 (g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量 (g)	目安量	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
ごぼう	生	30	20	96	30	10cm 程度	20	96
ごぼう	ゆで	45	26	95	30	10cm 程度	17	63
小松菜	生	20	3	100	30	1株	4	150
小松菜	ゆで	70	11	98	30	1株	5	42
ししとう	生	30	8	102	10	2本	3	34
しそ	生	20	7	100	1	1枚	0	5
春菊	生	20	4	92	30	1株	7	138
春菊	ゆで	35	9	95	30	1株	8	81
しょうが	生	35	11	95	10	1かけ	3	27
セロリー	生	25	4	103	30	10cm 程度	5	123
カイワレ大根	生	100	21	99	10	1/4パック	2	10
大根	生	40	7	92	30	1cm 程度	5	69
大根*	ゆで	45	8	95	30	1cm 程度	5	63
たけのこ	生	20	5	104	30	1/5本	8	156
たけのこ	水煮	120	28	92	30	1/5本	7	23
玉ねぎ	生	65	24	98	50	1/4個	19	75
玉ねぎ	水さらし	110	29	97	50	1/4個	13	44
玉ねぎ	ゆで	90	28	99	50	1/4個	16	55
チンゲン菜	生	40	4	104	30	2枚	3	78
チンゲン菜	ゆで	40	5	100	30	2枚	4	75
とうもろこし	生	35	32	102	30	1/4本	28	87
とうもろこし*	ゆで	35	35	102	30	1/4本	30	87
トマト	生	45	9	95	50	1/4個	10	105
ミニトマト	生	35	10	102	10	1個	3	29
なす	生	45	10	99	40	1/2本	9	88
なす	ゆで	55	10	99	40	1/2本	8	72
にら	生	20	4	102	20	1/5束	4	102
にら	ゆで	25	8	100	20	1/5束	6	80

カリウムの目安（野菜③）

		カリウム 100mg 相当			1回使用量			
		重量 (g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量 (g)	目安量	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
にんじん	生	35	13	95	20	2cm 程度	7	54
にんじん*	ゆで	40	16	96	20	2cm 程度	8	48
にんにく	生	20	27	106	5	1かけ	7	27
白ねぎ	生	55	15	99	20	5cm 程度	6	36
青ねぎ	生	30	8	96	3	1本	1	10
白菜	生	45	6	99	50	1/2枚	7	110
白菜	ゆで	60	8	96	25	1/2枚	3	40
ピーマン(青)	生	50	11	95	20	1個	4	38
ピーマン(赤)	生	45	14	95	20	1個	6	42
ピーマン(黄)	生	50	14	100	20	1個	5	40
ブロッコリー	生	25	8	90	10	1房	3	36
ブロッコリー	ゆで	50	14	90	10	1房	3	18
ほうれん草	生	15	3	104	30	1株	6	207
ほうれん草	ゆで	20	5	98	30	1株	8	147
ほうれん草	冷凍	40	8	96	30	1株	6	72
三つ葉	生	20	4	100	2	1本	0	10
みょうが	生	45	5	95	10	1個	1	21
もやし(大豆)	生	60	22	96	50	1/4パック	19	80
もやし(大豆)	ゆで	200	68	100	50	1/4パック	17	25
もやし(緑豆)	生	150	21	104	50	1/4パック	7	35
もやし(緑豆)	ゆで	420	50	101	50	1/4パック	6	12
モロヘイヤ	生	20	8	106	20	2本	8	106
モロヘイヤ	ゆで	60	15	96	20	2本	5	32
レタス	生	50	6	100	20	1枚	2	40
サニーレタス	生	25	4	103	20	1枚	3	82
れんこん	生	25	17	110	20	2cm 程度	13	88
れんこん	ゆで	40	26	96	20	2cm 程度	13	48

カリウムの目安（果実）

		カリウム 100mg 相当			1 回使用量			
		重量 (g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量 (g)	目安量	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
いちご	生	60	20	102	45	3 個	15	77
うんしゅうみかん	生	65	30	98	50	1 個	23	75
うんしゅうみかん	缶詰	130	83	98	30		19	23
オレンジ(ネーブル)	生	55	25	99	65	1/2 個	30	117
オレンジ(バレンシア)	生	70	27	98	60	1/2 個	23	84
柿(甘がき)	生	60	36	102	90	1/2 個	54	153
柿(渋抜きがき)	生	50	32	100	90	1/2 個	57	180
柿(干しがき)	干し	15	41	101	15	1 個	41	101
キウイフルーツ	生	35	19	102	40	1/2 個	21	116
グレープフルーツ	生	70	27	98	70	1/2 個	27	98
さくらんぼ	生	50	30	105	45	6 個	27	95
すいか	生	80	30	96	90	1/10 個	33	108
すもも(日本すもも)	生	65	29	98	20	1 個	9	30
なし(日本なし)	生	70	30	98	85	1/2 個	37	119
なし(西洋なし)	生	70	38	98	80	1/2 個	43	112
なし(西洋なし)	缶詰	180	153	99	50		43	28
なつみかん	生	50	20	95	80	1/2 個	32	152
なつみかん	缶詰	100	81	92	50		41	46
パインアップル	生	65	33	98	110	1/10 個	56	165
パインアップル	缶詰	80	67	96	50		42	60
はっさく	生	55	25	99	65	1/2 個	29	117
バナナ	生	30	26	108	100	1 本	86	360
びわ	生	60	24	96	35	1 個	14	56
ぶどう	生	80	47	104	85		50	11
ぶどう	干し	15	45	111	10		30	74
ブルーベリー	生	140	69	98	20	10 粒	10	14
マンゴ	生	60	38	102	50	1/4 個	32	85
メロン	生	30	13	105	30	1/8 個	13	105
桃	生	55	22	99	85	1/2 個	34	153
桃	缶詰	125	106	100	50	半割 1 個	43	40
りんご	生	90	49	99	60	1/4 個	32	66

カリウムの目安（きのこ類）

		カリウム 100mg 相当			1回使用量			
		重量 (g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量 (g)	目安量	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
えのき	生	30	7	102	45	1/2 袋	10	153
きくらげ	乾燥	10	17	100	1	3 個	2	10
きくらげ	ゆで	280	36	104	10	3 個	1	4
しいたけ	生	35	6	98	10	1 個	2	28
しいたけ	ゆで	40	8	100	10	1 個	2	25
干ししいたけ	干し	5	9	105	1	1 個	2	21
干ししいたけ	ゆで	45	19	99	8	1 個	4	18
ぶなしめじ	生	25	5	95	20	1/5 パック	4	76
ぶなしめじ	ゆで	30	6	102	20	1/5 パック	4	68
なめこ	水煮缶詰	100	9	100	20	1/5 袋	2	20
エリンギ	生	20	5	92	30	1 本	7	138
まいたけ	生	30	5	99	20	1/5 パック	3	66
まいたけ	ゆで	60	10	96	20	1/5 パック	3	32
マッシュルーム	生	30	3	105	10	1 個	1	35
マッシュルーム	水煮缶詰	110	145	94	10	1 個	1	9
まつたけ	生	25	6	103	10	1/5 本	2	41



カリウムの目安（イモ類）

		カリウム 100mg 相当			1回使用量			
		重量 (g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量 (g)	目安量	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
こんにゃく	精粉	300	15	99	50	1/8袋	3	17
しらたき	生	800	48	96	50	1/8袋	3	6
さつまいも	生	20	26	94	90	中 5cm 程度	119	423
さつまいも	蒸し	20	26	98	90	中 5cm 程度	118	441
さといも	生	15	9	96	85	2個	49	544
さといも	水煮	15	9	84	85	2個	50	476
さといも	冷凍	25	18	85	85	2個	61	289
じゃがいも	生	25	19	103	70	1個	53	287
じゃがいも	蒸し	30	25	99	70	1個	59	231
やまいも	生	25	16	108	60	5cm 程度	39	258

カリウムの目安（海藻類）

		カリウム 100mg 相当			1回使用量			
		重量 (g)	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)	使用量 (g)	目安量	エネルギー (kcal)	カリウム量 (mg)
あおのり 素干し		13	20	100	2	小さじ 1	3	15
あまのり 焼き海苔		4	8	96	4	1枚	8	96
あまのり 味付け海苔		4	7	108	4	1袋	7	108
昆布 素干し		3	5	96	1		2	32
昆布 削り昆布		2	2	96	4		5	192
昆布 塩昆布		5	6	90	10		11	180
ひじき 干しひじき		2.5	3	110	2	小さじ 1/2	3	88
もずく		5000	200	100	50	1パック	2	1
わかめ カットわかめ		25	35	110	1		1	4

5 食品・栄養表示の見方について

食品・栄養表示は、重要な情報源です。

調理加工食品は腎臓病の方にとってはたんぱく質や塩分が高いため、食べたいけれど食べられないと残念に思っている方もいらっしゃると思います。

しかし、食事制限がある中でも食べることのできる食品を選択する力を持つことを利用することができます。ここでは、食品表示と栄養表示の見方をご説明します。

(1) 食品表示とは・・?

食品表示には名称、原材料名、内容量、賞味期限、保存方法、凍結前加熱の有無、加熱調理の必要性、製造者が示されています。使用方法が表示されている食材もあります。



▼ 表示例

①

冷凍食品

名 称	冷凍コロッケ
原 材 料 名	野菜(ばれいしょ・たまねぎ)・牛肉・砂糖・みりん・小麦粉・マーガリン・しょうゆ・脱脂粉乳・食塩・香辛料・衣(パン粉・小麦粉・マーガリン・卵白・でん粉)・揚げ油(紅花油)・調味料(アミノ酸等)・香料・(原材料の一部に大豆を含む)
内 容 量	150グラム
賞 味 期 限	枠外の裏面に記載してあります
保 存 方 法	-18°C以下で保存してください
凍結前加熱の有無	加熱してありません
加熱処理の必要性	加熱してください
製 造 者	ABC食品工業株式会社 ABC 〒123-4567 東京都千代田区某1-1-1

※本品製造工場では、
卵、小麦を含む製品を生産しています。

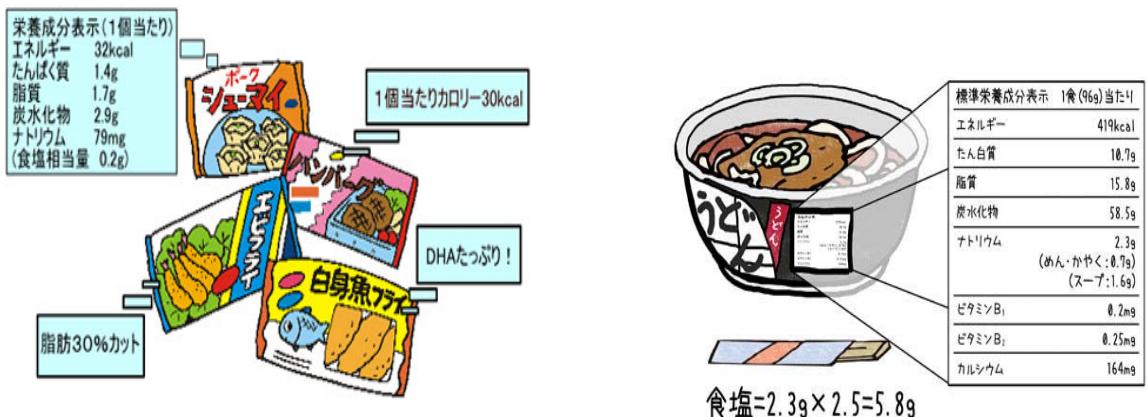
ポイントとなる表示は以下の3つです。

- ① 『商品名』 枠外に記入されています（この場合は冷凍食品）
- ② 『凍結前加熱の有無』 凍結直前に加熱されたものであるかどうかの表示
- ③ 『加熱調理の必要性』 食べる前に加熱が必要かどうかの表示

特に②『凍結前加熱の有無』の表示は冷凍野菜を使う際に、腎臓病の方にとっては“茹でこぼし”が必要であるかを判断できる重要な表示です。

(2) 栄養表示とは・・?

栄養表示とは、加工食品などの容器包装や添付文書に記載されている、その食品の栄養に関する情報のことです。栄養成分の表示に一定のルールを設けて、消費者に適切な情報を届けようという主旨から生まれました。食品を選ぶ時の参考や目安にしましょう。



(3) ナトリウムの表示について

ナトリウムの表示には (g) で表示されているものと (mg) で表示されているものがあります。表示の仕方が異なるのでしっかりと確認することが必要です。

栄養表示は、ナトリウムの表示のみで食塩相当量の表示を省略する場合があります。そういった場合にナトリウムと食塩相当量を読み間違えないように気をつけましょう。

また、ナトリウムの量から食塩相当量を算出することができます。

$$\textcircled{O} \text{食塩相当量} = \text{ナトリウム (g)} \times 2.54$$

$$\textcircled{O} \text{食塩相当量} = \text{ナトリウム (mg)} \times 2.54 \div 1000$$

★ 調理加工食品を選ぶときのポイント ★

- ① 低たんぱくであること
- ② 高エネルギーであること
- ③ 小分けでパックされていて加熱できる方が栄養価計算しやすいこと
- ④ 塩分が低いこと



★小分けのパック商品
ほしい分だけ温められるので、たんぱく質や塩分量が調節しやすく便利です。

(4) 冷凍食品の栄養成分

〈冷凍食品〉

腎臓病の方には、たんぱく質の低いシュウマイやギョウザがおすすめです。最近では小分でパックされていてほしい分だけ温めることができる便利な商品もあるので、少したんぱく質が足りないといった時に役立ちます。今回は、たんぱく質が比較的少ない商品を紹介します。

食品名	写真	1回当たりの使用量	1回の使用量あたり			コメント
			エネルギー kcal	たんぱく質 g	食塩 g	
★オススメ シュウマイ (ニチレイ)		1個 15g	23	0.9	0.1	1個当たりのたんぱく質約1g、食塩0.1gで使い勝手が良い。
★オススメ ギョウザ (味の素)		1個 21g	42	1.5	0.2	たんぱく質や食塩が少なく、おすすめです。醤油のつけすぎに注意。
鶏つくね串 (ケイエス)		1本 21g	38	2.6	0.4	
いか天ぷら (マルハニチロ)		1個 20g	43	2.1	0.3	
中華丼 (味の素)		1袋 210g	126	3.8	2.3*	食塩が多いため注意が必要です。
さけの塩焼き (ニッスイ)		1個 17g	20	3.6	0.4	ほしい分だけを加熱して食べることができますので便利です。
ハンバーグ (フレック)		1個 50g	81	4.7	0.5	
カツ (ニチレイ)		1個 20g	68	2.5	0.2	小さいのでお弁当等に便利。たんぱく質と食塩が計算しやすい。

★食塩に注意が必要なものにマークがついています

〈冷凍野菜〉

『腎臓病食は低たんぱくで野菜を豊富に！』 そう言われても、毎日野菜を多く摂るのは至難の技です。

★ここで要チェック！！



そこで「凍結前加熱の有無の表示」をしっかり確認して、加熱がされていないものは「ゆでこぼし」を行います。冷凍されることにより野菜の細胞が破壊されてカリウムを減らしやすくなる野菜もあります。(サトイモ・ほうれんそう等)

※ エネルギー・たんぱく質・食塩は解凍した状態のものの成分値です。

※ ブロッコリー、ミックスベジタブル、さといも、いんげんのカリウムは企業提示のものですが、その他の野菜は五訂増補食品成分表の数値を記載しました。

食品名	写真	目安重量	100gあたり			
			エネルギー kcal	たんぱく質 g	食塩 g	カリウム mg
えだまめ (味の素)		10さや 40g	72	5.4♦	0.6	生 590
						ゆで 490
						冷凍 650●
ブロッコリー (味の素)		一株(生) 200g	32	3.1	0.0	生 360
						ゆで 180
						冷凍 180
スイート コーン (味の素)		中1本 200g	98	2.8	0.0	生 290
						ゆで 290
						冷凍 260
ミックス ベジタブル (味の素)		100g	76	3.0	0.2	冷凍 213
さといも (味の素)		中5個 200g	70	1.9	0.0	生 640●
						冷凍 340
ほうれん草 (ニチレイ)		一株 20g	34	2.3	0.0	生 690●
						ゆで 490
						冷凍 240
いんげん (味の素)		太1さや 10g	35	1.9	0.1	生 260
						ゆで 270
						冷凍 270

◆たんぱく質、●カリウムに注意が必要ななものにマークがついています

(5) 菓子類の栄養成分

腎臓病の食事は食塩やたんぱく質を控えることに必死になってしまい、その結果エネルギーが不足してしまうことがあります。そんな不足しがちなエネルギーを補給するのにお菓子を活用するのも有効な方法です。しかし、菓子類を選択する場合も普通の食事と同様にたんぱく質や塩分には気をつけなければなりません。腎臓病の方専用のお菓子の他に、一般に市販されている食品についてもエネルギーごとにまとめました。

＜腎臓病治療用特殊食品（菓子）＞

●粉飴ムース●



*(株)H+B ライサイソス

*1 個 : 63g

*I社ヰ - : 150kcal

*たんぱく質 : 0g

*食塩 : 0g

*価格 : 115 円

※ヨーグルト・ストロベリー・グレープ・ブルーベリー・ラ・フランス味があります！！

●ニューマクトンクッキー●



*キッセイ薬品工業(株)

*1 枚 : 9.3g

*I社ヰ - : 50kcal

*たんぱく質 : 0.3g

*食塩 : 0g

*価格 : 1,103 円 (20 個)

※バナナ・シナモン味があります！！

50kcal

〈市販菓子類〉

商品名	写 真	50kcal の 目安量	エネルギー kcal	たんぱく質 g	食塩 g
スイート ドーナツ <u>(株)リボン</u>		1 個 (9g)	40	0.3	0.03
ダース		2 個 (7.5g)	44	0.1	0.01
カントリー マアム <u>(クリスピーカントリー)</u>		1 個 (9g)	49	0.6♦	0.07
りんご ゼリー <u>日本ミルク</u> <u>コミュニティ(株)</u>		1 個 (70g)	53	0	0.08
ハイチュウ		4 個 (20g)	58	0.3	0
キャラメル		4 個 (20g)	61	0.7♦	0.01
たまご ボーロ		1 袋 (15g)	63	0.2	0.06

◆たんぱく質に注意が必要なものに
マークがついています

100kcal①

※赤い●印のついているものは20gの見た目をP40~41で写真を掲載しています。

商品名	写 真	100kcalの 目安量	エネルギー kcal	たんぱく質 g	食塩 g
ポテトチップス うすしお味		20g●	95	0.8	0.16*
パイの実		4個 (17.2g)	96	1.2♦	0.12
いもかりんとう		20g●	100	0.4	0.01
キャラメル コーン		20g●	103	0.8	0.08
しみチョコ コーン		12個 (20g)	103	1.0♦	0.03
プチチョコパイ		1個と半分 (20g)	104	1.3♦	0.09

◆たんぱく質、★食塩に注意が必要な
ものにマークがついています

100kcal②

※赤い●印のついているものは20gの見た目をP40~41で写真を掲載しています。

商品名	写 真	100kcal の 目安量	エネルギー kcal	たんぱく質 g	食塩 g
プッキン プリン		1 個 (75g)	104	1.3♦	0.15*
おさつスナック		20g●	108	0.8	0.21*
コアラのマーチ		9 個 (20g)	108	1.1♦	0.12
かりんとう		20g●	110	0.9	0.02
とんがり コーン		20g●	122	1.1♦	0.36*

◆たんぱく質、★食塩に注意が必要な
ものにマークがついています

20g の見た目

※直径15cmの皿に
盛り付けたときのものです！！



●ポテトチップス●
20g



●いもかりんとう●
20g



●キャラメルコーン●
20g



●おさつスナック●
20g



●かりんとう●
20g



●とんがりコーン●
20g



オススメ！！

ウイダーin ゼリーエネルギーイン
*内容量：180g
*エネルギー：180kcal
*たんぱく質：0g
*食塩：0.02g

注意！！



*ドライフルーツ、干しいもは高エネルギーですが、カリウム
が多いので、制限がある人は気をつけなければなりません！！

6 レシピ集の活用方法について

はじめに

腎臓病の食事療法では制限が多いため、普通のレシピを利用する事が難しく、家族と別なメニューになってしまったりする。また、腎臓病食のレシピでは展開があるため、活用方法がわかりにくく、利用するのが難しい……。

レシピ集の活用方法を知る
II
展開におけるポイントを知る

- ◆自分のたんぱく質制限に合わせた料理を作ることができる。
- ◆少し手を加えるだけで、家族と同じメニューを食べることができる。

[1]

同封しましたレシピ集の中から1品を取り上げて、レシピの活用方法や調理のポイントを説明します。

本日の料理→レシピ番号①

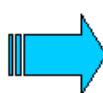


《主菜》

- ◆豚肉とレモンのさっぱり蒸し

《副菜》

- ◆野菜のマヨキンぴら
- ◆なめこの甘酢しょうゆ和え



○たんぱく質の指示量
1日30g、1食にすると10gの献立

[2]

レシピ①の『豚肉とレモンのさっぱり蒸し』を例にします。このレシピでは1食のたんぱく質10gのメニューを基本としています。

材料(1人分)

～豚肉とレモンのさっぱり蒸し～



○豚ロース肉…35g



○レタス…40g



○にんじん…10g



○レモン…15g



○小ねぎ…5g

[3]

レシピ集に記載されている材料の重量は1人分です。

たとえば、レシピの重量どおりに材料を揃えると、右の写真に示すような量になります。

材料:調味料類(1人分) ～豚肉とレモンのさっぱり蒸し～

- ①こしょう…少々
- ②食塩…0.2g
- ③ごま油…2g
- ④本だし…1g
- ⑤水…50cc



[4]

[3]と同様に調味料は右の写真のようになります。

こしょうはお好みで、また塩は親指と人差し指で軽くつまんでとれる量が食塩0.2gの目安となります。

作り方(1)



①にんじんは皮をむき、いちょう切りにして、水から茹でこぼす。

*茹でこぼす目安は、にんじんが軟らかくなるまで。



②小ねぎは小口切りにする。

[5]

まず材料を切ります。この時、下茹でや水さらしをして野菜のカリウムを減らす工夫をしましょう。

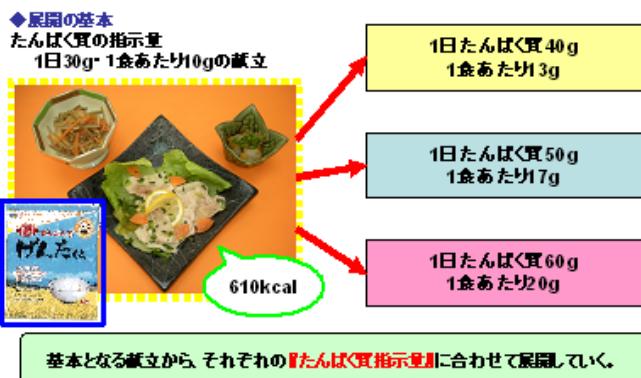
【栄養価】

	エネルギー kcal	タンパク質 g	脂質 g	食塩(カリウム) g(mg)	カリウム mg	リン mg
・豚肉とレモンのさっぱり蒸し…	130	7.5	8.8	0.6(258)	254	81
・野菜のマヨきんぴら炒め…	140	1.3	7	0.8(328)	156	31
・なめこの甘酢しょうゆ和え…	21	0.8	0.1	0.4(177)	153	30
低たんぱくご飯 (でんぶん米げんたんくん)90g・炊くと225g	319	0.3	0.7	0(47)	31	22
通常ご飯180g	302	4.5	0.5	0	52	61

[6]

レシピの下段にある栄養価のカリウムはすべて“生”の状態で栄養価計算したカリウム量が示してあります。したがって、下茹でや水さらしによりカリウムを表示してある量より20~30%程度下げられます。詳細はP24~31を参照してください。

展開方法について

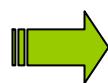


[7]

レシピ集に記載されている1食あたりたんぱく質10gのレシピをたんぱく質13g・17g・20gに変更する方法をみていきましょう。

[8]

たんぱく質指示量 1日 30g
1食あたり 10g の献立



たんぱく質指示量 1日 40g
1食あたり 13g の献立

に変更する方法の1例です。レシピの一番下に記載してあります。

たんぱく質量の調整（1食当たり）方法のヒント

●13g：豚ロース35gから40gに増やします。

さっぱり蒸しにかに風味かまぼこ20gを加えます。

この際、塩分量が増えてしまって本だし1gから0.5gに減らします。

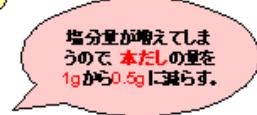
展開方法(10gから13gへ…)

主菜の『豚肉とレモンのさっぱり煮し』に…

◆豚ロース肉 35g→豚ロース肉 40gに増量



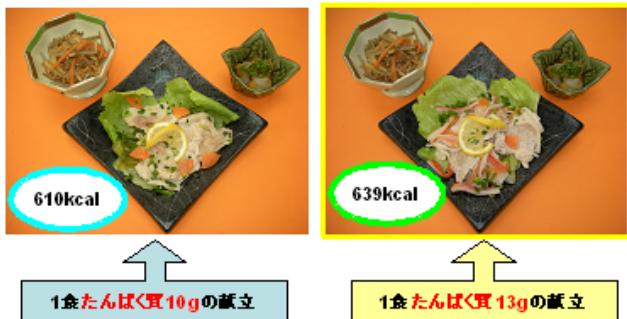
◆かに風味かまぼこを20g追加



[9]

たんぱく質指示量が1食あたり13gの献立にする場合は、主食は変更せず、その代わり、主菜の肉を増やしたり、他のたんぱく源を加えることでたんぱく質の量を調節します。

たんぱく質10gから13gへの展開

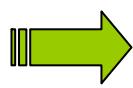


[10]

たんぱく質指示量が1食あたり10gから1食あたり13gの献立にした場合の完成写真です。

[11]

たんぱく質指示量 1日 30g
1食あたり 10g の献立



たんぱく質指示量 1日 50g
1食あたり 17g の献立

に変更する方法の1例です。レシピの一番下に記載してあります。

たんぱく質量の調整（1食当たり）方法のヒント

- 17g : 低たんぱくご飯を通常ご飯180gに変更します。
豚ロース35gを豚かた薄切り40gに変更します。
さっぱり蒸しにかに風味かまぼこ20gを加えます。
この際、塩分量が増えてしまうので本だし1gから0.5gに減らします。

展開方法(10gから17gへ…)

主食の「たんぱく質調整ご飯(げんたくん)」を…

◆たんぱく質調整米(げんたくん)90g(ご飯では約225g)
→普通ご飯 180gに変更



たんぱく質調整米「げんたくん」
米の状態で90g(炊くと225g)



45

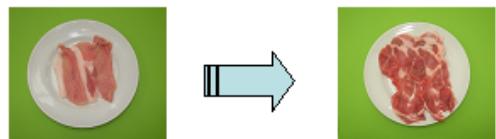
[12]

たんぱく質の指示量が1食あたり17gの献立にする場合には主食をたんぱく質調整米から通常のご飯に変更することができます。

展開方法(10gから17gへ…)

主菜の豚肉とレモンのさっぱり蒸し計に…

◆豚ロース肉 35g→豚肩薄切り肉 40gに変更



◆かに風味かまぼこを20g追加



塩分量が増えてしまうので本だしの量を1gから0.5gに減らす。

[13]

さらに主菜の肉を増やすことができます。ここで困ることは肉の量が増えることによって脂質の量も増えてしまうことです。肉の量を増やす時は、脂身のやや少ない肉に変更していくこともポイントです。

たんぱく質10gから17gへの展開



[14]

たんぱく質指示量が1食あたり10gから1食あたり17gの献立にした場合の完成写真です。

[15]

たんぱく質指示量 1日 30g
1食あたり 10g の献立



たんぱく質指示量 1日 60g
1食あたり 20g の献立

に変更する方法の1例です。レシピの一番下に記載してあります。

たんぱく質量の調整（1食当たり）方法のヒント

●20g：低たんぱくご飯を通常ご飯180gに変更します。

豚ロース35gから豚かた薄切り肉50gに変更します。

さっぱり蒸しにかに風味かまぼこ20gを加えます。

この際、塩分量が増えてしまうので本だし1gから0.5gに減らします。
なめこの甘酢しょうゆ和えは豆腐35gの上にのせ、冷奴にします。

この際、カリウムが増えてしまうので、なめこと大根を30gから10gに減らします。

展開方法(10gから20gへ…)

主食の「たんぱく質調整ご飯(げんたくん)」を…

◆たんぱく質調整米(げんたくん) 90g (ご飯では250g)
→普通ご飯 180gに変更



たんぱく質調整米「げんたくん」
米の状態で90g(炊くと225g)



通常のご飯 180g

[16]

たんぱく質の指示量が1食あたり20gの献立の場合は、17gと同様に、通常のご飯を召し上がることができます。

展開方法(10gから20gへ…)

主菜の「豚肉とレモンのさっぱり煮しめ」に…

◆豚ロース肉 35g → 豚肩章切り肉 50gに変更



◆かに風味かまぼこを20g追加



塩分量が増えてしまうので、本だしの量を
1gから0.5gに減らす。

[17]

たんぱく質指示量が1食あたり20gの献立では17gにするのと同様、主菜の肉は、やや脂身の少ない肉を使って量を増やしてください。また、塩分のあるものを追加する場合は調味料を控えめにするなどの配慮が必要です。

展開方法(10gから20gへ…)

副菜の「なめこの甘酢しょうゆ和え」に…

◆絹ごし豆腐を35g追加



◆なめこ大根を30g → 10gに減らす



[18]

単純に主菜のたんぱく源の量を増やすだけでは脂質量や塩分量が増えすぎてしまします。そこで、使用できるたんぱく量に余裕がでてきた場合、副菜に脂質の少ない新たたんぱく源をプラスするなど食材の種類を増やすことで調節することも可能です。

たんぱく質10gから20gへの展開



[19]

たんぱく質指示量が1食あたり10gから1食あたり20gの献立にした場合の完成写真です。展開の基本となっているたんぱく質指示量が1食あたり10gの献立と比較してみると大分ボリュームアップしています。

展開のポイント

- ◆主菜のたんぱく源を変更(肉や魚の種類や使用する部位や量を変更する。)
- ◆主菜のたんぱく源を変えた場合はエネルギーや脂質や塩分量は副菜で調節する。
- ◆副菜にたんぱく源を足す。
- ◆特殊調整食品を利用する。

[20]

腎臓病の食事療法においては個人によってたんぱく質指示量が異なるため、レシピは展開して利用することが必要になります。

ここでは、展開における簡単なポイントを紹介しています。



今回の『レシピ集』や、先ほどの展開のポイントなどを参考に、さまざまな献立に挑戦してみましょう。